

慶應義塾大学DMC研究センター  
シンポジウム第13回

# 知 と 情 報 と

デジタル知の深化と共有に向けて

# 人 間

■ 日 時: **2025年3月17日(月)**  
**14:00 ~ 17:00 (13:30開場)**

■ 場 所: 慶應義塾日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

■ 開催形式: 対面・オンライン配信

■ 入 場 料: 無 料

\* 申し込みフォームによる事前登録をお願いします



主催 慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター

<https://www.dmc.keio.ac.jp/index.html>

お問い合わせ: TEL. 045-548-5807 / Mail. [jimu-dmc@adst.keio.ac.jp](mailto:jimu-dmc@adst.keio.ac.jp)



DMC 研究センターでは、これまでにデジタルアーカイブの構築やFutureLearn オンラインコースのコンテンツ制作を通して、歴史資料や文化資源のデジタル化に取り組んできました。昨今では研究のデジタルデータや成果だけではなく、そのプロセスをも含めて社会に広くオープンにすることが期待されています。本シンポジウムでは、オープンサイエンス時代におけるデジタル知の共有と公開について、歴史資料や文化資源などの分野も視野に入れて検討します。皆さまぜひ奮ってご参加ください。

## プログラム概要

講演 (14:10~15:30)

**橋詰秋子** 実践女子大学文学部図書館学課程准教授

書誌コントロール：  
図書館における知の共有の仕組み



橋詰秋子

**木村麻衣子** 日本女子大学文学部日本文学科准教授

図書館情報学とDHの関係について、  
Digital紅葉山文庫での経験から考えたこと



木村麻衣子

**池田真弓** 慶應義塾大学理工学部外国語・総合教育教室准教授  
DMC 研究センター所員

ヨーロッパ中世から近世における  
知の所有と共有について —薬草事典を例に



池田真弓

**荒金直人** 慶應義塾大学理工学部外国語・総合教育教室准教授

客観性・明証性・連続性  
—私たちは情報に何を求めているのか



荒金直人

パネルディスカッション (15:45~16:45)

● パネリスト (50音順)

荒金直人 池田真弓 木村麻衣子 橋詰秋子

● モデレーター

**金子晋丈** 慶應義塾大学理工学部情報工学科准教授  
DMC 研究センター副所長



金子晋丈